実行団体の公募結果報告

事業名:中国5県休眠預金等活用コンソーシアム休眠預金活用事業　　**提出日:　2020年　4月　13日**

分配団体名:中国5県休眠預金活用コンソーシアム（代表団体：NPO法人ひろしまNPOセンター）

Ⅰ. 公募～選定の結果

項目	事業数	団体数
選定予定件数（※）	4	4
申請件数	9	9
選定件数	4	4

※公募枠数の事業数と団体数は、基本的に同じ数値を入力

Ⅱ.公募プロセス

分類	項目	記入欄		
説明会・個別相談会	説明会への参加団体数（半角数字）	65		
	説明会の実施回数（半角数字）	5		
	個別相談会の実施回数（選択式）※電話での相談も含む	51～		
	説明会の告知媒体の種類 （利用した媒体は「✓」を選択。複数選択可）	HP	✓	
		SNS	✓	
		メール	✓	
		チラシ	✓	
		関連組織を通じた広報	✓	
		プレスリリース	✓	
		その他（入力）		
	説明会の告知期間（日数。半角数字）※告知開始～説明会終了	24		
	評価に関する説明の実施の有無（選択式）	有		
	評価に関する説明の主な実施者（選択式）	資金分配団体のプログラム・オフィサー		
		（「その他」を選んだ場合は入力⇒）		
	工夫したこと、良かったこと（500字以内）	公募に関する説明会と、評価に関する説明会に分けて実施。公募に関する説明会では公募要領の読み合わせに偏らないよう、出来る限りJANPIAや資金分配団体の想いを伝えた。また、今後パートナー（実行団体）となる可能性を踏まえ、参加団体とのコミュニケーション・交流もできる限り実施した。評価に関する説明会は勉強会という体をとり、休眠預金に関わらず有用な手法であることを伝えた。		
	課題（500字以内）	説明会においての質疑応答ではおおむね理解していただけたが、その後、申請に向けては多くの問い合わせをいただいた。そのことから、もう少し申請する側の立場に立った説明を行う必要があると考えている。受け付けた問い合わせについてはQ&Aに落とし込み、来年度以降の参考とできるよう整理を行った。		
募集	募集の告知期間（日数。半角数字）※告知開始～募集受付開始	32		
	募集の受付期間（日数。半角数字）	32		
	説明会募集？の告知媒体の種類 （利用した媒体は「✓」を選択。複数選択可）	HP	✓	
		SNS	✓	
		メール	✓	
		チラシ	✓	
		関連組織を通じた広報	✓	
		プレスリリース	✓	
		その他（入力）	✓	PO等スタッフによる営業。
	工夫したこと、良かったこと（500字以内）	コンソーシアムを組んだことにより、地域に専門性を持つプログラムオフィサーが担当となることができ、公募説明会に参加できなかった団体に対しても十分なアプローチができた。申請を検討する団体からの問い合わせも非常に多く、実行団体に採択されるか否かは別として、当コンソーシアムが目指す姿に共感いただくことができ、このことはコンソーシアム内で高く評価している。		
	課題（500字以内）			
審査	審査委員について（半角数字）	審査委員人数	4	
		うち、外部の専門家委員	4	
		うち、内部の委員	0	
		その他（入力）		（「その他」を選んだ場合は入力⇒）
	工夫したこと、良かったこと（500字以内）	中国地方に所縁があることを共通の基準とし、中山間地域振興の専門家、金融機関、学識経験者、福祉等の助成についての専門家と、本事業に必要な知見を持った外部審査委員で構成することができた。ジェンダーバランスについても意識し、男性2名、女性2名で組むことができた。 事前審査（書類審査）と審査委員会の2段階で審査を実施した。審査委員会開催前に意見交換の時間を設け、事前審査での疑問点や要点などの確認を行ってから審査委員会を開催した。そのため、より踏み込んだ議論をいただくことができた。 委員のお一人がお怪我をされ、開催数日前にオンライン参加になることになった。そのため、オンライン対応を急遽行ったが、途中トラブルもなく、十分な審査を行っていただくことができた。		
	課題（500字以内）	担当POによる事前の説明とご挨拶を実施したが、事前審査（書類審査）については、十分にこちらの意図が伝わっていない部分もあり、審査委員へ負担をかける結果となった。		
その他	公募に関して上記以外で良かったこと、課題、JANPIAへの要望等自由に記載してください。（任意。800字以内）	公募説明会、募集、審査を通じて、コンソーシアムの強みや連携による相乗効果が形になってきた。		

Ⅲ. ガバナンス・コンプライアンスの状況

分類	項目	実施内容
実行団体の公募	実行団体のコンプライアンス/ガバナンス体制の確認をどのように行いましたか。（200字以内）	担当POによる様式および規定類のチェックに加えて、他県POとチェック内容の共有を行った。また、全POによるチェック完了団体について意思決定機関である運営委員会に報告し、最終的な確認と承認を行った。
	実行団体の公募における申請団体との面談（必要に応じて現地調査）はどのように実施しましたか。（200字以内）	運営委員会において内定とした団体を対象に、担当POと推薦団体が直にあって面談を行った。その際、運営委員や他県POも同席（オンライン参加も含む）し、複数の目線から内定団体を図った。
	審査の過程で第三者の意見聴取等、専門的な意見をどのように取り入れましたか。（200字以内）	審査は書類確認による事前審査と、意見交換による審査委員会の2段階に分けて実施した。事前審査で各審査委員は自身の知見から申請案件を審査し、その意見を審査委員会で交換し、議論を深めながら1案件ごとに評価を行った。審査委員会には運営委員もオブザーバー参加をし、審査委員の声を直接聞くことで、その後の適切な選考につなげることができた。審査委員会での結果を受けた内定団体選定を行った。
	審査を行う者の利益相反の防止措置はどのように行いましたか。（200字以内）	審査委員会規則を定め、委員就任状を求める際に熟読いただくことで、公正公平な審査委員会であることを伝えるとともに、利益相反等のリスクについても十分に伝えた。また審査委員会の1か月前程度には審査ガイドを送付し、改めて審査の公平性と公益性を伝えた。

Ⅳ公募の設計について

分類	項目	実施内容	
申請団体数について	実行団体選定予定件数に対して申請団体数は想定通りでしたか。（選択式）	想定通りだった	
	（上記の設問について）公募に対する申請団体数が想定通りでなかった場合は、その要因は何だと思われますか。（500字以内）	島根県は具体的な相談は5件程度あったが、1件のみの申請だった。申請に至らなかった理由は事業立案や組織内での合意形成が申請締切に間に合わなかったため。これらの団体には今後も個別フォローを続ける。	
実行団体の事業内容について	設定した社会課題の解決に対して、選定した実行団体の事業内容（目標、対象者、地域、活動、金額、規模等）は想定通りでしたか。（選択式）	想定通り（または想定以上）だった	
	（上記の設問について）想定通り（または想定以上）だった場合、何を工夫したことで想定通りの事業申請があったと思われますか。また、想定を下回っていた場合、その原因は何だと思われますか。（500字以内）	公募のテーマを中国5県で1つだけに絞らず、各県の実情（その地域の課題認識、課題に取り組む団体等の力量等）を十分に理解するテーマを各県毎で提案したことで、資金分配団体のニーズと実行団体のニーズが合致した事業内容が申請されたと分析している。	

Ⅴ. 選定結果の通知及び公開の状況

分類	項目	記入欄	
実行団体の選定しなかった理由の通知	実行団体に選定しなかった各選定申請団体に対し、その理由と改善すべき点を示しましたか。（選択式）	はい	
選定結果の情報公開	情報公開をホームページ等で行いましたか。（選択式）	はい	
	「はい」の場合：　ページURL	http://npoc.or.jp/project-	
	「いいえ」の場合：　公開予定日（YYYY/MM/DD）		